

■5月30日

新関空国際会社、民間への事業運営権、来年1月に1次入札

新関西国際空港会社が、関西空港と大阪(伊丹)空港の事業運営権の売却に向け、今年秋から1次入札に参加する企業の募集を始め、来年1月に1次入札を実施することが29日分かった。最終的に落札者となった企業連合と来年末までに契約を結ぶ方針だ。47newsが報じた。

入札条件に関してヒアリング調査を行ったところ、意欲を示す投資ファンドなどもあった。また、最近の株価上昇により、海外勢の間で日本での投資意欲が高まっていることもあり、入札の早期実施が可能と判断した。

(47NEWS)5/29

<http://www.47news.jp/CN/201305/CN2013052901001895.html> (->

<http://www.47news.jp/CN/201305/CN2013052901001895.html>)

モンゴリアンエアライン、日本発着チャーター11便運航計画

5月1日付けでフヌ・エアーに社名を変更したモンゴリアンエアラインズグループは、7月25日から9月1日にかけて、日本発着チャーター便を11本運航する計画だ。すでに大手旅行会社を中心に10社弱が販売を開始し、一部便では予約が8割あるなど順調に推移している。

チャーターは米子、那覇、宮崎—ウランバートル経由イルクーツク間と中部、静岡、福岡、広島—ウランバートル間、関空、岡山—ウランバートル、イルクーツク間で実施する計画。使用機材はエアバスA319型機(ビジネスクラス12席、エコノミークラス108席)。

同社は、昨年2月に日本に初就航し、ゴールデンウィーク中と7月14日から8月29日の間、羽田—ウランバートルのチャーターを計23本実施。ロードファクターは75%と順調であった。また、8月11日と18日には成田・新潟—ウランバートルでチャーターを実施したが、ほぼ満席だったという。

(トラベルビジョン)5/29

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57722&pg=2> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57722&pg=2>)

鹿児島県、上海線維持対策、1000人規模の県職員、短期研修事業を計画

鹿児島県は29日、延べ1000人規模の県職員を中国・上海に派遣する短期特別研修事業を実施すると発表した。利用者減が続いている定期航空路線の鹿児島—上海便の利用率アップを図るのが狙いで、1億1800万円(1人当たり約12万円)を6月補正予算案に計上する。可決されれば7月上旬からの派遣となる。県によると、国際定期便維持のための職員研修は全国初。

鹿児島—上海線は中国東方航空が2002年8月から就航し、日航とコードシェア便で、現在は週2便の運航を行っている。同便は一時は週4便だったが、鳥インフルエンザや尖閣諸島を巡る日中間の問題で利用者が減り、今年4月以降は週2便となった。また、4~8月は13便がキャンセルされるなど低迷が続いている。

県の研修(3泊4日)はインフラ整備の見学などで12月までを予定しており、1回につき50人が参加する。食事代やパスポート代なども県の負担で、県行政管理室は「経済的にも上海のつながりを切るわけにはいかない。職員の見聞を広めることが、県民の利益になる」と理解を求めている。

(毎日新聞)5/29

<http://mainichi.jp/select/news/20130530k0000m040064000c.html> (->

<http://mainichi.jp/select/news/20130530k0000m040064000c.html>)

全日空、新ユニフォーム、アジア出身の初の外国人デザイナー

全日空は29日、昨年の創立60周年を契機として導入を発表した客室乗務員などの新ユニフォームについて、デザイナーをシンガポール生まれで、ネパールで育ち、インドで学び現在はニューヨークで活躍している新進気鋭のデザイナー、

ブラバル・グルン氏に決定したと発表した。同社のユニフォーム刷新では、初の外国人デザイナーの採用となる。新ユニフォームは、ANAグループの客室乗務員、地上旅客スタッフあわせて約1万人が着用する予定。新デザインは秋から年内にかけて発表され2014年下期の導入を予定する。

(ANAプレスリリース)5/28

http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-040.html (-> http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-040.html)

(日刊航空)5/29

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0530-02.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0530-02.pdf>)

ライオンエア(LCC)、タイに子会社設立

バンコクポストは22日、インドネシアの格安航空会社ライオンエアが、タイに子会社を設立すると報じた。拠点空港は、ドムアン国際空港、使用機材はボーイング737-800型機6機を導入する。同社は、マレーシアにもマリンドエアウェイズを設立し、運航を開始したばかり。

尚、ベトナムの格安航空会社ベトジェットエアもタイに子会社を設立する見通しだ。

(バンコクポスト)5/22

<http://www.bangkokpost.com/business/aviation/351235/lion-air-to-launch-thai-subsiary> (->

<http://www.bangkokpost.com/business/aviation/351235/lion-air-to-launch-thai-subsiary>)